

10. 教職課程の単位修得

(1) 教職に関する科目

本学の「教職に関する科目」とその単位数は下表のとおりである。

授業科目は11. 開講科目一覧表(1) 教職に関する科目(p.28)を参照のこと。

		教育職員免許法施行規則に定められた科目	本学での開講科目名	単位数	
第一欄	教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項		中学1種	高校1種
第二欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2	2
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理Ⅰ	2	2
		幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	2	2
		教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	教育原理Ⅱ	2	2
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程の研究	2	2
		特別活動の指導法			
		各教科の指導法	**教科教育法	6 (8) 注1	4
		道徳の指導法	道徳教育の研究	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法	2	2	
第五欄	生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒の指導の理論及び方法	学校カウンセリングⅡ	2	2
		進路指導の理論及び方法			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	学校カウンセリングⅠ	2	2
第六欄	総合演習		総合演習	2	2
第六欄	教育実習		教育実習Ⅰ	1	1
			教育実習Ⅱ	2	2
			教育実習Ⅲ	2	
			合 計	31 (33) 注1	25

注1. 「数学」の03年次生以降, 「社会」の05年次生以降, 「英語」の06年次生以降は教科教育法が8単位必修となり, 教職に関する科目は33単位必要。

1) 「教職に関する科目」履修上の注意

- ① 「教職に関する科目」はすべて学科科目として履修登録すること。
- ② 「教職に関する科目」について同一科目名の重複履修は認められない(担当教員が異なっても不可)。
- ③ 「教職に関する科目」が卒業要件に含まれるか否かは各学科によって異なる。「教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は全学科において卒業要件に含まれない。
- ④ 「工業」の免許状のみを取得しようとする場合は, 「教職に関する科目」の単位(25単位)の全部, または一部を「教科に関する科目」の同数の単位の修得をもって替えることができる(免許法附則第13項)。すなわち, 「工業」の「教科に関する科目」を59単位以上修得していればよい。本学でもこれを適用しているが, 東京都教育委員会では, 上記の場合もなるべく「教職に関する科目」(特に教育実習)を修得することを望む通達を出している。

2) 「教科教育法」の履修

各教科に必要な教科教育法科目は次のとおりである。

() 内の数字は単位数を示す。

免許状の種類 免許状の教科	中 学 1 種 [必要単位数 6 単位または 8 単位]		高 校 1 種 [必要単位数 4 単位]	
国語	国語科教育法Ⅰ (2) 国語科教育法Ⅱ (2) 国語科教育法Ⅲ (2) 2003年度以前に履修した国語科教育法A・Bも認められる		国語科教育法Ⅰ (2) 国語科教育法Ⅱ (2) 2003年度以前に履修した国語科教育法Aも認められる	
社会	04年次生以前 [6 単位]	05年次生以降 [8 単位]		
	社会科教育法 (2) 社会科・地歴科教育法Ⅰ (2) (旧：社会科・地歴科教育法) 社会科・公民科教育法Ⅰ (2) (旧：社会科・公民科教育法)	社会科・地歴科教育法Ⅰ (2) 社会科・地歴科教育法Ⅱ (2) 社会科・公民科教育法Ⅰ (2) 社会科・公民科教育法Ⅱ (2)		
地理歴史			04年次生以前	05年次生以降
			社会科・地歴科教育法Ⅰ (2) (旧：社会科・地歴科教育法) 社会科・地歴科教育法Ⅱ (2) (旧：地理歴史科教育法)	社会科・地歴科教育法Ⅰ (2) 社会科・地歴科教育法Ⅱ (2)
公民			04年次生以前	05年次生以降
			社会科・公民科教育法Ⅰ (2) (旧：社会科・公民科教育法) 社会科・公民科教育法Ⅱ (2) (旧：公民科教育法)	社会科・公民科教育法Ⅰ (2) 社会科・公民科教育法Ⅱ (2)
福祉			福祉科教育法Ⅰ (2) 福祉科教育法Ⅱ (2)	
数学	02年次生以前 [6 単位]	03年次生以降 [8 単位]	02年次生以前 [4 単位]	03年次生以降 [4 単位]
	数学科教育法Ⅰ (2) 数学科教育法Ⅱ (2) 数学科教育法Ⅲ (2)	数学科教育法Ⅰ (2) 数学科教育法Ⅱ (2) 数学科教育法Ⅲ (2) 数学科教育法Ⅳ (2)	数学科教育法Ⅰ (2) 数学科教育法Ⅱ (2)	数学科教育法Ⅰ (2) (選択) 数学科教育法Ⅱ (2) (選択) 数学科教育法Ⅲ (2) (必修)
理科	理科教育法Ⅰ (2) 理科教育法Ⅱ (2) 理科教育法Ⅲ (2)		理科教育法Ⅰ (2) 理科教育法Ⅱ (2)	
情報			情報科教育法Ⅰ (2) 情報科教育法Ⅱ (2)	
工業			工業科教育法Ⅰ (2) 工業科教育法Ⅱ (2)	
商業			商業科教育法Ⅰ (2) 商業科教育法Ⅱ (2)	
英語	05年次生以前 [6 単位]	06年次生以降 [8 単位]	英文学科開講	英語科教育法Ⅰ (2) 英語科教育法Ⅱ (2)
	英語科教育法Ⅰ (2) (必修) 英語科教育法Ⅱ (2) (必修) 英語科教育法Ⅲ (2), 英語科教育法Ⅳ (2) のいずれか 1 科目の 計 6 単位	英語科教育法Ⅰ (2) 英語科教育法Ⅱ (2) 英語科教育法Ⅲ (2) 英語科教育法Ⅳ (2)		
英語	05年次生以前 [6 単位]	06年次生以降 [8 単位]	英語学科開講	英語科教育法Ⅰ (2) 英語科教育法Ⅱ (2) または 英語科教育法 (4)
	英語科教育法Ⅰ (2) (必修) 英語科教育法Ⅱ (2) (必修) 英語科教育法Ⅲ (2), 英語科教育法Ⅳ (2) のいずれか 1 科目の 計 6 単位 または 英語科教育法 (4) (必修) 英語科教育法Ⅲ (2), 英語科教育法Ⅳ (2) のいずれか 1 科目の 計 6 単位	・英語科教育法Ⅰ (2) は必修 ・英語科教育法Ⅲ (2), 英語科教育法Ⅳ (2) のいずれか 1 科目 ・履修していない科目で次の いずれかを 4 単位修得 英語科教育法Ⅱ (2) 英語科教育法Ⅲ (2) 英語科教育法Ⅳ (2) 英語科教育法 (4)		

免許状の種類 免許状の教科	中 学 1 種 [必要単位数 6 単位または 8 単位]		高 校 1 種 [必要単位数 4 単位]	
	ドイツ語	ドイツ文学科開講	ドイツ語学特講Ⅱ (2) (ドイツ語科教育法Ⅰa) ドイツ語学特講Ⅱ (2) (ドイツ語科教育法Ⅰb) ドイツ語学特講Ⅱ (2) (ドイツ語科教育法Ⅱ)	ドイツ文学科開講
ドイツ語学科開講		ドイツ語科教育法Ⅰ-1 (2) ドイツ語科教育法Ⅰ-2 (2) ドイツ語科教育法Ⅱ (2)	ドイツ語学科開講	ドイツ語科教育法Ⅰ-1 (2) ドイツ語科教育法Ⅰ-2 (2)
フランス語	フランス語科教育法Ⅰ (2) フランス語科教育法Ⅱ (2) フランス語科教育法Ⅲ (2)		フランス語科教育法Ⅰ (2) フランス語科教育法Ⅱ (2)	
イスパニア語			イスパニア語科教育法Ⅰ (2) イスパニア語科教育法Ⅱ (2)	
ロシア語			ロシア語科教育法Ⅰ (2) ロシア語科教育法Ⅱ (2)	
ポルトガル語			ポルトガル語科教育法Ⅰ (2) ポルトガル語科教育法Ⅱ (2)	
宗教	宗教科教育法Ⅰ (2) 宗教科教育法Ⅱ (2) 宗教科教育法Ⅲ (2)		宗教科教育法Ⅰ (2) 宗教科教育法Ⅱ (2)	

- ①取得する免許教科，入学年次，所属する学科に応じて教科教育法を履修すること。中学と高校で必要な単位数は異なる。
- ②2教科以上の免許状を取得するには，それぞれの教科教育法を修得する必要がある。
- ③英文学科，英語学科の学生が履修する「英語科教育法」は，自学科の開講科目を履修すること。英文学科，英語学科以外の学生が履修する「英語科教育法」は，英文学科，英語学科の開講科目のどちらかを履修してもよいが，必要な単位はすべて同一学科の開講科目で修得すること。

3) 教育実習の履修

教育実習に関するガイダンス，手続，履修に関することは，4. 教育実習 p.11～を参照すること。

- ①教育実習を行うためには参加資格条件が設定されている。条件を満たさない場合は教育実習を行うことができない。
- ②「教育実習Ⅰ」（1単位）の事前事後指導は，原則として教育実習を行う年度に履修すること。
- ③中学1種と高校1種で必要な実習期間，単位数が異なる。中学1種を取得する場合は3～4週間の教育実習で「教育実習Ⅱ・Ⅲ」（計4単位），高校1種は2週間の教育実習で「教育実習Ⅱ」（2単位）を履修すること。

(2) 教科に関する科目

1) 「教科に関する科目」の履修

- ①「教科に関する科目」は学科，教科ごとに定められている。
11. 開講科目一覧表（2）教科に関する科目の所属する学科の該当する教科にしたがって修得すること（所属学科以外の一覧表にある科目を修得しても認められない）。
- ②「教科に関する科目」は年度によって変更する場合がある。修得した科目が「教科に関する科目」として算入できるか，どの系列に算入されるかは，科目を修得した年度に対応する『教職課程の手引き』で確認すること。
- ③「教科に関する科目」の重複履修については各学科の履修上の注意（履修要覧の各学科の頁参照）に基づく。
- ④「教科に関する科目」のうち，社会・地理歴史・公民および情報の全学共通科目（教職課程基礎科目）は全学共通科目，他はすべて学科科目として履修登録すること。

2) 自学科で取得できない教科の「教科に関する科目」の履修

- ①所属学科で定められた教科以外の教科は，自学科で取得できる教科と併せて履修する場合のみ取得できる。
- ②自学科以外の教科の「教科に関する科目」は他学科生受講可能な科目を開講している学科を選択し，その一覧表のなかの科目から履修すること。但し，英文・英語・比較文化・国際教養学科以外の学生で他教科として「英語」の取得を希望する学生は p.125掲載の科目から履修すること。

(3) 教科又は教職に関する科目

「教科又は教職に関する科目」については下記の表のとおりである。注1～6を参照のこと。

免許状の種類	最低必要単位数	対象となる科目の種類
中学1種 (注1)	8	①「教科に関する科目」(注2) 「教科に関する科目」として定められている最低修得単位数(20単位)を差し引いた余剰単位数を充当することができる。 ②「教科又は教職に関する科目」(教育学科・心理学科所属学生のみ)(注3)
高校1種	14	①「教科に関する科目」(注2) 「教科に関する科目」として定められている最低修得単位数(20単位)を差し引いた余剰単位数を充当することができる。 ②「教職に関する科目」道徳教育の研究(2単位) ③「教職に関する科目」教育実習Ⅲ(2単位) ④「教科又は教職に関する科目」(教育学科・心理学科所属学生のみ)(注3)

注1. 本学では、中学1種免許取得において余剰単位となる「教職に関する科目」を開講していない。

注2. 「教科に関する科目」の重複履修については各学科の履修上の注意にもとづくので、余剰単位の算入の可否もそれに従う。

注3. 「教科又は教職に関する科目」として科目が設置されているのは、教育学科と心理学科のみである。授業科目は11. 開講科目一覧表(3)教科又は教職に関する科目p.133を参照のこと。

注4. 「教職に関する科目」は同一科目の重複履修は認められない。よって重複履修による余剰単位を充てることは認められない。

注5. 本要件に関して、余剰単位を算入する際、科目の分割はできない。

(4) その他の必修科目

その他の必修科目は全学共通科目として履修すること(法学部の憲法を除く)。

1) 「日本国憲法」(2単位)

憲法(科目コード:040001)必修。但し法学部生は憲法(基本的人権)(科目コード:330140)、憲法(統治機構)(科目コード:330160)必修。

2) 「体育」(2単位)

ウエルネスの理論と実践(科目コード:002100)必修。

3) 外国語コミュニケーション(2単位)、情報機器の操作(2単位)

下表にしたがって修得すること。

学部	学科	外国語コミュニケーション
神	神	英語・ラテン語
文	哲	英語・ドイツ語
	教育	英語・ドイツ語・フランス語
	心理	英語
	史	英語
	国文	英語
	英文	ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・スペイン語・インドネシア語・ポルトガル語・アラビア語
	ドイツ文	英語
	フランス文	英語
	新聞	英語
	社会	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・スペイン語・インドネシア語・ポルトガル語・アラビア語
	社会福祉	英語

学部	学科	外国語コミュニケーション
総合人間科学	教育	英語・ドイツ語・フランス語
	心理	英語
	社会	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	社会福祉	英語
法	法律	英語・ドイツ語・フランス語
	国際関係法	英語・ドイツ語・フランス語
	地球環境法	英語・ドイツ語・フランス語
経済	経済	英語
	経営	英語
外国語	英語	ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	ドイツ語	英語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	フランス語	英語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	スペイン語	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	ロシア語	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
	ポルトガル語	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・ポルトガル語・アラビア語
国際教養	国際教養	ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・インドネシア語・フィリピン語・アラビア語
理工	機械工	英語
	電気・電子工	英語
	数	英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語
	物理	英語
	化	英語

4) 情報機器の操作

情報リテラシー演習 (科目コード: 003100) 必修。

2007年度（平成19年）教職に関する科目一覧

(1) 教職に関する科目

科目コード	授業科目	単位	開講期	担当名	年次	開講学部・学科	備考
620900	教育原理Ⅰ	2	秋	*杉浦 太一	1～3	課程	
620900	教育原理Ⅰ	2	春	増淵 幸男	2・3	課程	
620900	教育原理Ⅰ	2	春	*杉浦 太一	2・3	課程	
620950	教育原理Ⅱ	2	秋	武内 清	1～3	課程	
620950	教育原理Ⅱ	2	春	杉村 美紀	2・3	課程	
620950	教育原理Ⅱ	2	春	*夏秋 英房	2・3	課程	
620950	教育原理Ⅱ	2	秋	*住田 正樹	1～3	課程	
620970	教職概論	2	秋	*井上 健	1～3	課程	
620970	教職概論	2	春	*広石 英記	2・3	課程	
620970	教職概論	2	春	*林 幹夫	2・3	課程	
158006	教育心理学	2	休講	明田 芳久	1～4	心理学科	
158010	教育心理学	2	秋	*馬場 久志	1～4	心理学科	[200名]
158006	教育心理学	2	秋	荻野美佐子	1～4	心理学科	
158010	教育心理学	2	春	*小林 能成	1～4	心理学科	
158510	学校カウンセリングⅠ	2	春	*卯月 研次	1～4	心理学科	[180名]
158510	学校カウンセリングⅠ	2	春	*桜井 美加	1～4	心理学科	
158510	学校カウンセリングⅠ	2	春	*浅原 知恵	1～4	心理学科	
158510	学校カウンセリングⅠ	2	秋	*森平 直子	1～4	心理学科	[120名]
158512	学校カウンセリングⅡ	2	春	*榎本 和生	1～4	心理学科	
158512	学校カウンセリングⅡ	2	春	*篠 翰	1～4	心理学科	
158512	学校カウンセリングⅡ	2	秋	*篠 翰	1～4	心理学科	
158512	学校カウンセリングⅡ	2	秋	*大根田充男	1～4	心理学科	
629250	教育方法	2	春	*芝崎 順司	2・3	課程	[160名]
629250	教育方法	2	秋	*永井理恵子	1～3	課程	
629250	教育方法	2	秋	*貫井 正納	1～3	課程	
620980	教育課程の研究	2	春	*新富 康央	2・3	課程	
620980	教育課程の研究	2	秋	*新富 康央	1～3	課程	
620980	教育課程の研究	2	春	奈須 正裕	2・3	課程	
620990	総合演習	2	秋	中村友太郎	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	HAIJAR Juan	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	春	瀬本 正之	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	瀬本 正之	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	理辺良保行	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	片山はるひ	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	長島 正	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	小山 英之	2～4	課程	注1, 定員40名
620990	総合演習	2	秋	川中 仁	2～4	課程	注1, 定員40名
620109	教育実習Ⅰ	1	秋	コーディネータ 教職課程委員長 教職課程委員	4	課程	教育実習事前事後指導, 注2・注3・注4
620154	教育実習Ⅱ	2	秋	教職課程委員	4	課程	中学・高校用実習, 注2・注3・注4
620160	教育実習Ⅲ	2	秋	教職課程委員	4	課程	中学用実習, 注2・注3・注4
629100	道德教育の研究	2	秋	*坂倉 裕治	2～4	課程	中学必修
629100	道德教育の研究	2	春	*佐々木慶照	2～4	課程	中学必修
629100	道德教育の研究	2	秋	*伊東 毅	2～4	課程	中学必修
187519	国語科教育法Ⅰ	2	春	*瀧 康秀	3	国文学科	中学・高校用
187520	国語科教育法Ⅱ	2	秋	*瀧 康秀	3	国文学科	中学・高校用
187521	国語科教育法Ⅲ	2	春	*佐野 摩美	3・4	国文学科	中学用
620207	社会科教育法	2	春	*兼田信一郎	1～3	課程	中学用 注5
620221	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	春	*荻原 英二	2・3	課程	中学・高校用 注5
620233	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	秋	*兼田信一郎	2・3	課程	中学・高校用 注5
620211	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	秋	*新井 明	2・3	課程	中学・高校用
620263	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	春	*小原 孝久	2・3	課程	中学・高校用
620536	数学科教育法Ⅰ	2	春	*石村 博彦	2～4	課程	中学・高校用
620565	数学科教育法Ⅱ	2	秋	*飯高 茂	2～4	課程	中学・高校用
620575	数学科教育法Ⅲ	2	春	角皆 宏	2～4	課程	中学・高校用
620576	数学科教育法Ⅳ	2	秋	*横沼 健雄	2～4	課程	中学用 (03年次生以降)

科目コード	授業科目	単位	開講期	担当名	年次	開講学部・学科	備考
620409	理科教育法Ⅰ	2	春	コーディネータ 関根 智幸 *高橋 純 *結城 千代子 *影森 徹	2・3	課程	中学・高校用
620452	理科教育法Ⅱ	2	秋	コーディネータ 大井 隆夫 *中込 真 *原野 久雄 *梅野 正博 *長谷川 博	2・3	課程	中学・高校用
620462	理科教育法Ⅲ	2	春	コーディネータ 安増 茂樹 *二宮 穰 *大花 民子	1～3	課程	夏期集中, 中学用, 注6
209111	(文)英語科教育法Ⅰ	2	春	池田 真	2・3	英文学科	中学・高校用 注7
209112	(文)英語科教育法Ⅱ	2	秋	鈴木 利彦	2・3	英文学科	中学・高校用 注7
209113	(文)英語科教育法Ⅲ	2	春	CHEETHAM Dominic	2・3	英文学科	中学用 注7
209114	(文)英語科教育法Ⅳ	2	秋	CHEETHAM Dominic	2・3	英文学科	中学用 注7
503901	(外)英語科教育法Ⅰ	2	春	渡辺 良典	2～4	英語学科	中学・高校用 注7
503902	(外)英語科教育法Ⅱ	2	秋	*荒井 貴和	2～4	英語学科	中学・高校用 注7
503903	(外)英語科教育法Ⅲ	2	春	和泉 伸一	2～4	英語学科	中学用 注7
503905	(外)英語科教育法Ⅳ	2	秋	笠島 準一	2～4	英語学科	中学用 注7
503904	(外)英語科教育法	4	秋	吉田 研作	3・4	英語学科	中学・高校用 注7
223028	(文)ドイツ語学特講Ⅱ (ドイツ語科教育法Ⅰa)	2	春	吉田 有	2～4	ドイツ文学科	合併授業 中学・高校用
223029	(文)ドイツ語学特講Ⅱ (ドイツ語科教育法Ⅰb)	2	秋	吉田 有	3・4	ドイツ文学科	合併授業 中学・高校用
223032	(文)ドイツ語学特講Ⅱ (ドイツ語科教育法Ⅱ)	2	春	MEYER Andreas	3・4	ドイツ文学科	合併授業 中学用
538909	(外)ドイツ語科教育法Ⅰ-1	2	春	吉田 有	2～4	ドイツ語学科	合併授業 中学・高校用
538910	(外)ドイツ語科教育法Ⅰ-2	2	秋	吉田 有	3・4	ドイツ語学科	合併授業 中学・高校用
538902	(外)ドイツ語科教育法Ⅱ	2	春	MEYER Andreas	2～4	ドイツ語学科	合併授業 中学用
547321	フランス語科教育法Ⅰ	2	春	原田 早苗	3・4	フランス語学科	中学・高校用
547331	フランス語科教育法Ⅱ	2	秋	原田 早苗	3・4	フランス語学科	中学・高校用
547341	フランス語科教育法Ⅲ	2	秋	*室井幾世子	2～4	フランス語学科	中学用
554110	イスパニア語科教育法Ⅰ	2	春	*上田 博人	3・4	イスパニア語学科	高校用
554120	イスパニア語科教育法Ⅱ	2	秋	*上田 博人	3・4	イスパニア語学科	高校用
576154	ロシア語科教育法Ⅰ	2	春	安達 祐子	2～4	ロシア語学科	高校用
576155	ロシア語科教育法Ⅱ	2	秋	安達 祐子	2～4	ロシア語学科	高校用
586004	ポルトガル語科教育法Ⅰ	2	春	大野 隆雄	2～4	ポルトガル語学科	高校用
586005	ポルトガル語科教育法Ⅱ	2	秋	TOIDA Helena	2～4	ポルトガル語学科	高校用
620802	商業科教育法Ⅰ	2	春	*佃 直毅	2・3	課程	隔年開講 高校用
620851	商業科教育法Ⅱ	2	秋	*佃 直毅	2・3	課程	隔年開講 高校用
620505	工業科教育法Ⅰ	2	春	*井口 茂	3	課程	高校用
620510	工業科教育法Ⅱ	2	秋	*井口 茂	3	課程	高校用
973001	宗教科教育法Ⅰ	2	休講	山岡 三治	2～4	神学部	中学・高校用
973104	宗教科教育法Ⅱ	2	休講	*武田なほみ	2～4	神学部	隔年開講 中学・高校用
973201	宗教科教育法Ⅲ	2	春	*雨宮 慧	2～4	神学部	隔年開講 中学用
299501	福祉科教育法Ⅰ	2	春	*矢幅 清司	2・3	社会福祉学科	高校用
299502	福祉科教育法Ⅱ	2	秋	*矢幅 清司	2・3	社会福祉学科	高校用
620601	情報科教育法Ⅰ	2	春	*武沢 護	2～4	電気・電子工学科	高校用 (03年次以降)
620602	情報科教育法Ⅱ	2	秋	*武沢 護	2～4	電気・電子工学科	高校用 (03年次以降)

注1. 「総合演習」は、教職課程履修者を主な受講者として開講されている。受講者数が定員を上回る場合、原則として教職課程履修者及び上級学年の登録者が優先されるが、初回の授業で人数調整を行った上で受講者を決定するので、必ず初回の授業に出席すること。

注2. 教育実習を行う場合は、必ず教育実習Ⅰ(事前事後指導)を履修し、所定の授業にすべて出席すること。

注3. 教育実習は、次のとおり履修すること。

中学校免許・高等学校免許両方取得……………教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修すること。

中学校免許のみ取得……………教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修すること。

高等学校免許のみ取得……………教育実習Ⅰ・Ⅱを履修すること。

ただし、高等学校免許のみ取得希望であっても、3週間以上の実習を行う予定の者は、「教育実習Ⅲ」の履修登録を行うこと。

注4. 教育実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの「履修中止」申請はできない。

注5. 教職課程履修者のみを受講対象者とする。

注6. 理科教育法Ⅲは、「生物学概説Ⅰ」、「生物学概説Ⅱ」を履修後、あるいは同一年度に履修すること。

注7. 英文・英語学科以外の学生が履修する「英語科教育法」は英文学科、英語学科の開講科目のどちらかを履修してもよいが、同一学科の開講科目のみで要件を満たすこと。

注8. *は非常勤講師